

令和 3 年度第 2 回総合教育会議以降の経緯について

1 令和 3 年 11 月 15 日（月）総合教育会議

発言者	意見の内容	事務局の考え方
桑原委員	○めざすすがた 3 に記載がある「命の大切さを実感し、自分のことも他人のことも大切にすると育てます」について、最近自己肯定感が低い子どもが多いという話を聞くので、「自分のことも大切にすると育てます」という部分を強調できないか。	(P.6 中段めざすすがた 3 2 行目) 生命を尊重する、他者への思いやりを持つ、よりよい人間関係を構築するなど、他とよりよく関わっていくためには、自己肯定感・自己有用感を持ち、自分のことを大切にできるということが重要です。 ご意見のとおり、より「自分のことも大切にすると育てます」ことの重要性を明示するため、めざすすがた 3 の文章部分に、「まずは一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、」という趣旨の文章を追加します。
松本委員	○めざすすがた 6 「長崎を愛する心を持ち、まちを支え、未来へつなぐ人」の部分は、「地域」から「まち」に表現を変えると、捉え方が小さくなったような気がする。検討しなおしたほうが良いのではないか。	(P.7 下段 めざすすがた 6) めざすすがたの 6 「長崎を愛する心を持ち、まちを支え、未来へつなぐひと」の「まち」については、地域社会、産業を含む広い意味を表現するために「まち」という言葉を使っています。 なお、「まちづくり」は基本的にひらがなで「まちづくり」と表されますが、これは、「町」、「街」という漢字を用いると意味が限定されたりわかりにくくなったりするため、あえて平仮名で記載されるものです。

市長	<p>○「長崎にいるとこういう体験ができる」ということを意識的に工夫して、具体的に用意ができたなら、子どもが育つ、感じる、心感するチャンスになる。「体験」や「体感」という言葉を組み合わせて基本姿勢にすると、より具体的な方向性が見えるのではないか。</p>	<p>(P.3 下段 ひとつづくりの基本姿勢(2))</p> <p>ご意見のとおり、ひとつづくりにあたっては、様々な体験を重ねることが重要な要素の一つであると認識しています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、「ひとつづくりの基本姿勢」の文章部分の(2)を「つながりによって創造される力や発想を活かし、健やかな育ちや学びを阻害する要因を解消するとともに、新たな教育の機会や仕組みを生み出し、時代の変化に対応したひとつづくりに努めます。」から「つながりによって創造される力や発想を活かし、<u>健やかな育ちを支え、 学びを深めるための新たな仕組みの構築や長崎らしい多様な体験活動の充実を図ることで、時代の変化に対応しながら、自ら学び、考え、行動し、未来を切り拓くことができる ひとつづくりに努めます。</u>」と修正します。</p>
----	---	--

2 令和3年11月定例会

総務委員会 令和3年12月3日（金）

教育厚生委員会 令和3年12月7日（火）

発言者	意見の内容	事務局の考え方
総務委員会 委員	○マスコミ等で知る範囲のなかで、子どもたちの責任能力が非常に希薄になっているという思いがある。教育大綱の中に、「自らの行動や発言発信について、責任を持てる人」という趣旨の内容を追加できないか。	<p>(P.5 上段 めざすすがた1 4行目、(3))</p> <p>ご意見のとおり、自分の言動は、自らが主体的に判断し、自らの責任において行うということが重要であると考えます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、めざすすがた1の文章部分を「また、幼児期からの教育を通じて、広い視野と、自分の考えをしっかりと持ち、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断・行動し、自分で解決する力を育む必要があります。」から「また、幼児期からの教育を通じて、広い視野と、自分の考えをしっかりと持ち、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、責任を持って行動することで、自分で解決する力を育む必要があります。」と修正します。</p> <p>また「(3)自分の考えや問題意識を持つことで、自ら課題を見つけ、課題に対する最善の解決策を導き出せるひとを育てます。」を「自分の考えや問題意識を持つことで、自ら課題を見つけ、課題に対する最善の解決策を導き出し、責任を持って行動するひとを育てます。」と修正します。</p>
総務委員会 委員	○新学習指導要領にも沿って教育大綱を作成したということを確認してはどうか。	<p>(P.1 はじめに 一番下から6行目)</p> <p>教育大綱においては、学習指導要領の内容を踏まえています。そのことがわかるよう、前文の「はじめに」にて、記載したいと考えています。</p>

